

外国人座談会

日本と日本人に

2008.10.8 (水)

ログハウス

司会：はじめに自己紹介をお願いします。

ソムチャイ：私はタイのプーケットから来ました。12年前に一度日本に来て、日本語学校に行ったり、仕事をして2年くらい住んでいました。プーケットに帰って自分でビジネスをしていましたが、2年前にまた日本に来ました。通算で4年くらい住んでいます。仕事は、酒屋で酒の配達をしています。

ハオ：中国から来ました。生まれたのは秦皇島という海辺の都市です。北京から北のほうに300キロくらいのところにあります。始皇帝が不老長寿の薬を探すために若い男女をここから出航させたという伝説があります。日本に来てから1年半経ちました。一昨年の3月に一度3カ月の研修を受けに来たことがあります。仕事はSMCで開発、技術センターで働いています。

フェイ：私は中国の生まれです。生まれたのは石炭の海と言われる山西省です。山西省の有名なお土産はたくさんありますが、お酒とかナツメとか牛肉が有名です。ハオさんと一緒に去年の5月に日本に来ました。仕事も同じSMCですが、部署が違います。私はシリンダーの特殊設計をやっています。お客様の要求にふさわしいアクチュエーター（シリンダー）を設計しています。

ジョゼリス：ブラジル人です。生まれたのはクラト・セアラというところで、ブラジルの一番北にあります。海に近いところです。17年前に一度日本に来て働いていました。3年ほどでブラジルに帰り、8年前にまた日本に来ました。仕事は、日本ハムでクリーンシフト、製造が終わってから機械を分解して清掃をしています。

クリスティーナ：私はジョゼリスの妻で、主婦です。サ

ンパウロの生まれです。私の祖父母は日本人でブラジルに移住しました。母はその娘でブラジル生まれの2世、父は熊本生まれの1世です。サンパウロで主人と知り合いました。サンパウロは日系人がとても多い。今は日系人とブラジル人の夫婦はたくさんいます。日系人同士の結婚は少ない。国際結婚は珍しくなくなりました。

司会：自分の国で一番自慢できることを教えてください。

ソムチャイ：リゾートがたくさんあり、観光です。海がきれいだし、タイ料理もおいしい。人は優しく気候が温暖です。

ハオ：一番自慢できると思うのは、長い歴史。ほかの国よりも長い歴史を持っています。

フェイ：北京ダックとか料理もおいしい。最近ではロケットを飛ばしました。

ジョゼリス：ブラジルはサッカー。みんな大好きです。それとお祭り、カーニバルです。2月からすごいです。3番目は焼肉。日本とはボリュームが違います。グラムではなくキロ単位ですね。

司会：日本の印象をお聞かせください。

ソムチャイ：自分のカミさんは日本人です。13年前にタイに来ていたカミさんと知り合って結婚しました。子どもができてカミさんが日本で生みたいと言ったので、そのとき日本に来ました。2年ほど日本にいてタイへ戻りました。プーケットに戻って働かなくてはならないので旅行会社を作りました。最初は小さい会社でしたが、だんだん日本人のお客さんが多くなってやめられなくなりました。3年前に津波があってお店が全部流されました。カミさんはビルの屋上に逃げて助かりました。家は海岸から300メートルのところにありましたが、あと50メートルのところまで波が来ました。会社も流されたしお客さんも戻ってこない。日本にはおじいちゃん、おばあちゃんもいるし、子どもの勉強のこともあって日本に住むことにしました。前に来たときと今度来たときの違いは、日本人が変わったように思います。今は、若い人とかは自分のことしか考えていないみたいで、知らない人とか関係ない人のことは考えてくれない。普段私は車で仕事に行くけど、土曜日とか電車に乗ります。帰りのときとか、女の人でも仕事で疲れていて眠っちゃって隣の人に寄りかかってきます。前来たときなら「すみません、重いんですけど」とかやさしく押し戻したりしていたのが、今は肘で押し返したりします。



サントルナイ・ソムチャイ
(タイ)
水海道在住。日本人の妻と子ども3人



ハオ・リー・ドン
(中国)
守谷市在住。SMCの研修生

ハオ：日本は緑が多いことと、環境意識が高いところですね。悪いところは小さい、というか、神社とか公園とか地図で見て大きい場所かなと思って行ってみると小さくてがっかりします。中国だったら公園もみな大きい。近くにある神社とか公園とかみんな小さくて、子どもたちがかわいそうです。

フェイ：この前先輩にも聞いたのですが、来る前の印象と実際に来てみてからの印象は大体同じです。日本人はまじめです。時間を厳しく守ります。空気が新鮮だし、緑が多いし住みやすいです。中国は緑が少ない。山西省は山で、石炭が一杯で、空気が悪いです。

司会：日本は来てみたい国だったですか。

ハオ：行ってみたいと思っていましたが、環境ではなくて文化に興味がありました。中国でアニメとかずっと見ていたから、本当の日本もアニメと同じようなかと思っていましたから、行ってみたいと思っていました。日本の病院とか入国管理局とかは不便だと思います。私が休みのときは彼らも休む。私が仕事をしているときは彼らも仕事をしている。中国だったら、銀行とか郵便局とかは土曜、日曜はずっとやっている、それに夜遅くまで開いています。日本は郵便局に行くときとか税金を払うとき休まなければならない。とても不便だと思います。

ジョゼリス：日本の印象ですが、最初日本は寒い国だと思っていました。雪がいっぱい降る。ブラジルは暑い。来てみたら日本も暑い。私は外国人の顔をしているので日本人に優しくされます。でも、日本人と同じ顔立ちの日系人は優しくされない。ブラジル人は最初、日本語がわからない。それでも日本人は優しくしてくれる。日系人は両親が日本人なのに何で日本語を覚えてないのかと厳しくされます。17年前に来たときは日本人は優しいと思っていました。

クリスティーナ：日本人は優しくないと思うことがたまにあります。

司会：クリスティーナのご両親は日本に来ますか。

クリスティーナ：日本とブラジルは地球の反対側で、時差が12時間もあり、とても遠いので日本には来ません。

ジョゼリス：今、ブラジルは朝食を食べてコーヒーを飲んでいるところです。

フェイ：ブラジルの朝食は何を食べますか。

クリスティーナ：パン、コーヒー、バター、チーズです。

ハオ：ブラジルは朝、何時から仕事が始まりますか。

クリスティーナ：大体8時ごろです。

フェイ：中国も同じですね。

司会：皆さんは休みの日には何をしていますか。

ソムチャイ：私の休みは日曜だけ。日曜は子どもの野球の練習日で、仕事より早く起きてテントを運んだりしなくてはいけない。野球が終わって家に帰ったら子どもにタイ料理を作って食べさせて、料理を教えてあげています。子どもたちは日本に来たとき日本語が話せなかったからタイ語でしゃべっていて、それが家でも日本語になっちゃって、タイ語を話さなくなった。変だなんて思っていたら、たぶん学校の生徒、友達なんかがタイ語をしゃべったら何を言っているのかわからないので、恥ずかしいのか、子どもが家の中でも日本語しかしゃべらなくなった。家の中でタイ語をしゃべらなくなると困ります。私は両方の言葉を話せたほうがいいと思っています。もう少し大きくなったら自分からタイ語を勉強したいと思うようになるかもしれませんが、今はタイの言葉とか伝統とか魚介料理とかを教えています。

ハオ：自分は一人だから旅行とか日本の本を読むとか、テレビ、映画を見るとか、とりあえずしています。旅行は神戸、京都、奈良、大阪、名古屋に行きました。一番行きたいのは沖縄と北海道。あと、日本の食べ物を楽しんでいます。神戸に行ったとき、神戸牛を食べました。あれ、本当においしかった。

フェイ：長い休みのときは各地を旅行します。普段はジョギングしたり、洗濯したり掃除したり、気が付かないうちに時間が経ちます。旅行は北海道、京都、大阪、海ホタル、江ノ島に行きました。今まで行った中で一番美しかったのは日光です。行きたいのは尾瀬で、日本語の先生がほめていたところです。

ジョゼリス：自分は夜勤なので家族と一緒にロックシティなんかにいきたいけど、家でゆっくりしていて、奥さん、怒っています。大阪には昔住んでいたことがあり、そのとき京都とか奈良に遊びに行きました。茨城は仕事ばかりであまりわかりません。

司会：日本の食べ物で好きなものはなんですか。

ジョゼリス：一番はうどん。刺身は好きではない。

ソムチャイ：私は刺身が大好きです。

ハオ：神戸牛。

フェイ：天ぷらです。寿司は冷たくておいしいとは思いませんでした。

ハオ：ジョゼリスさんの家ではブラジル料理を作ります。



フェイ・リ・シャン
(中国)
守谷市在住。SMC
の研修生



司会：
日本語講座委員長・
飯田孝道

すか。

クリスティーナ：たまにね。

ソムチャイ：自分は日曜日にはタイ料理を作ります。今まで作ったことのない料理でも、岩井とか土浦のタイマーケットに行ってタイの野菜を買ってきて、店の人に作り方を聞いて自分で作ってみます。

司会：生活をしていて言葉以外で困っていることはありますか。

ソムチャイ：私は刺青があるので温泉に入れません。プールにも。風習が違うから、私は若いときに刺青をいれました。日本に来て温泉に入りたいけど入れない。家族を連れて行きたくても断られるので困ります。日本人と外国人は違うじゃないですか。外国人だから仕方ないとは思ってくれない。ヤクザとは違います。

クリスティーナ：私の息子は22歳ですが、刺青をいれました。

フェイ：中国で刺青は罪を犯した人がいれます。中国人は刺青をいれない。

ハオ：それは昔の考えで、最近の若い人はいれている人もいます。私が困っていることは礼儀と習慣。年上の女の人に呼びかけるときどう呼ぶか、迷います。中国だったら年寄りには尊敬されるから実際の年より若く呼ぶのは失礼にあたります。日本は逆で、若いほうがいい。知り合いのところで私より年上の女の人をおばあちゃんと呼んだらすごく怒られました。おねえさんと言えばよかった。今は女の人にはすべておねえさんと呼んでいます。中国だったらとても失礼な言い方です。

フェイ：今のところ困っていることはありません。日本は住みやすいです。

ジョゼルス：日本の滞在は長いけど仕事ばかりで勉強する時間がありません。この日本語講座を見つけて水曜日に習っているけど漢字までは覚えられない。

ハオ：守谷でもローマ字で書いてあるところが多くなりました。ローマ字は万国共通でどこの人でも読めます。

ジョゼルス：たしかに増えたけどパスとか漢字だけだと行き先が分かりません。中国の人はいいけどタイの人やブラジル人には漢字は難しい。カタカナ、ひらがなは大体分かるけど。

ハオ：確かに中国人には優しい。

クリスティーナ：中国にもカタカナ、ひらがなはありますか。

フェイ：ありません。

ハオ：漢字は音があるからその発音に似た漢字を組み合わせる。たとえば、自動車メーカーのマツダのブランド名は中国では「馬自達」です。コカコーラは「可口可樂」です。

司会：MIFAが行っているイベントに参加したことはありますか。また、そのような情報はどこで知りますか。

フェイ：参加したことはありません。

ハオ：モンゴルの馬頭琴の演奏会に行ったことがあります。こういった催しはいいと思います。自分で来られるなら来たいと思います。

クリスティーナ：娘の学校から持って帰るチラシとかを見ます。広報紙はみていません。

ソムチャイ：水海道に住んでいますが自分も広報は見ません。カミさんやおばあちゃんが見て、家族で行こうか、ということがあります。

ジョゼルス：ブラジルのイベントはあちこちであります。水海道はブラジル人が多いので、そういう情報は会社に来ます。

司会：守谷市で行っている情報をもっと知ってもらう必要がありますね。MIFAの今後の課題です。

クリスティーナ：できればポルトガル語で。

ジョゼルス：日本語講座が毎週あればいいと思います。

クリスティーナ：日本語講座の最後の日に修了式があります。このときブラジル人、タイ人、中国人、自分の好きな料理を持ち寄ってパーティーを開くことはできませんか。

司会：休みの人はできるけど、皆、働いているから。

ハオ：料理を作っても時間が経つとおいしくなくなる。中国料理は熱いうちに食べるのが一番おいしい。

フェイ：ここで作ればいいのだけれど、夜、遅いから。最後の日は休みの日にするとか。

ハオ：土曜日から日曜日なら皆一緒に作ったり話をしたり、そのほうがいい。

司会：MIFAサロンで外国料理を作って食べることはやっています。先日も中国のギョーザを作ったりしました。

ハオ：ギョーザだけでなく各国の有名な料理とかできればいいと思いますね。

ジョゼルス：では、バーベキューだね。

司会：自分の国に帰ったら、日本をどのように紹介しますか。

クリスティーナ：日本は地球の環境を守っています。カン



デオリベイラ・ジョゼルス
(ブラジル)
水海道在住



デオリベイラ・クリスティーナ
(ブラジル)
ジョゼルスさんの妻



とピンを分けて出すとか。ブラジルはそのような意識がない。全部一緒に、リサイクルもありません。

ハオ：日本のテレビでは、人間同士だけではなく、動物とかの命を尊重します。すべてのものが魂を持って尊敬するところが素晴らしいと思います。

ジョゼリス：日本はテクノロジーがナンバーワン。新しいものを作る。すごい国だと思います。

ソムチャイ：街にごみがなくてとてもきれい。ごみを出す日が決められているし、ごみを再生します。それに、日曜日に皆で地域のごみを集める。ほかの国では見たことがありません。

ハオ：日本人は働きすぎだと思います。働くのが好き。朝早くから夜遅くまで働いている。奥さん元気？って聞いたらわからないと答える。顔を合わせていない。残業は日常茶飯事です。

ソムチャイ：普通の国ではブラジルでも中国でも上の人はよく働くけど、下の人は働かない。日本は普通の人がよく働く。お金をもらわなくても働いている。

ハオ：皆、会社を自分で経営している会社だと思っているようです。経営者みたいに働いています。中国なら会社は会社のもの。私のものは私のものと考えてる。日本では会社のものも自分のもののように大切にしています。

フェイ：ご飯も5分くらいで食べます。車を運転しながらおにぎりを食べたり。若い女の人は、車の中で化粧をしています。

ハオ：のんびりできない。そんな感じがします。

司会：そのほか、何か伝えたいことはありますか。

ソムチャイ：タイの国で自分の宗教を聞かれたら、仏教とかイスラム教とか答えますが、日本人に聞いたら答えられない。日本は宗教のことを忘れているのかなと思います。できれば町とか学校とかでそういうことがあったらいいと思います。タイは60パーセントが仏教徒で、あとはイスラム教。タイの子どもは小さいときから宗教の教えを教えられて、いい人になるためにしなければならないこととか、してはいけないことが分かるようになります。これをやったらいいとか悪いとかをわからせることが大切だと思います。最近の日本にはこれがありません。

ハオ：日本の若い人と年をとった人の差が大きい気がします。年をとった人は本当に優しいというか、礼儀がちゃんとしている。尊敬語とか敬語をいつも使っているけど、若い人は使わない。印象が変わりますね。日本の年をとった人を見たら、これこそ本当の日本の昔からの印象だと思います。

クリスティーナ：今年日本とブラジルは修好100年になりました。次の200周年のときも美しい地球を残したいと思います。

司会：お忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。



外国人座談会 PART2

これは正式な座談会ではありません。2003年2月15日に行われた筑波大学留学生ホームステイの対面式のときのものです。

このときは7カ国、8人の留学生が守谷市にホームステイしましたが、それまでの対面式とは少し趣向を変えて、対面式の後、留学生たちに自国を紹介してもらったり、日本に来て思ったこと、驚いたことなどを話してもらいました。

日本に来てからまだ何カ月もたっていない人もいましたが、自国で日本文化や日本語を学んだ人もいて、皆さん、驚くほど日本語が達者でした。日本に興味を持ったのが「おしん」の放送を見たから（エチオピア）とか「ドラえもん」を読んで（ラオス）とか思いもかけないような話もありました。

内容が「外国人座談会」ですので、「Part2」として掲載しました。



日本に来て驚いたところ、日本の習慣、日常生活で不思議に思ったところは？

ダグ・ヘワン（エチオピア）：スーパーとかデパートに入ると「いらっしゃいませ」と言われる。エチオピアでは買い物をしたとき「サンキュー」と言うだけ。入っただけで「いらっしゃいませ」と言われたのにはびっくりした。とてもいいことだと思う。帰国して「日本では100円の買い物をしても、『ありがとうございます』と言う」と話したら、日本はテクノロジーの国なのに、今でもそんな文化を持ち続けていることに皆、驚いていた。

アイダ（スロベニア）：4年間日本語と日本文化を勉強してきたので、驚きはなかった。ただ、最初お風呂に入ったときは驚いた。スロベニアにはお風呂の習慣はない。ちょっと恥ずかしかった。

ヤーニャ（スロベニア）：お店の人が皆、親切です。買い物をすると全部袋に入れてくれて、「ありがとうございます」と言う。スロベニアでは自分で入れる。良いことだと思う。

キム（韓国）：一つめは、若者の中でメガネを掛けている人が少ない。二つめは、店員が親切なのに驚いた。三つめは、日本の冬はソウルよりも暖かい。

リ（中国）：まず地震です。初めてのときはベッドに寝ていたのですが、驚いて目が覚めた。何をしようかわからないうちに終わった。二つめはテレビ。テレビ番組は面白い。芸能人が相手をたたく。これは中国にはあ

りません。

レーティ（ベトナム）：日本の店員は皆、親切だと思う。店員とたくさん話します。ベトナムではあまり話さない。二つめは、日本の学生は寒くても短いスカートで来ます。寒くないのかと思う。もう一つは地震です。

ファテマ（イラン）：電車の中で、皆、静かです。駅でも足音しか聞こえない。

ケムーマニー（ラオス）：渋谷に行ったとき、駅の階段を上ろうとしたら、上から人がたくさん降りてきたのに驚いた。買い物をするとき、何か聞きたいことがあれば、店員がやさしく説明してくれる。つい買いたいと思ってしまう。

日本の文化から何を学んで帰りたいですか？

ダグ・ヘワン：日本の料理を作りたい。うどんの作り方は友達から教えてもらった。

アイダ：スロベニアでは寿司とか生魚を食べない。寿司のレストランがない。日本に来てから寿司をたくさん食べた。日本について考えるとき、皆、着物を思う。着物は本当にきれいだと思うし、興味がある。

ヤーニャ：着物、舞妓さんとか。去年11月に京都に行った。そのとき舞妓さんを見て、とてもきれいと思った。卒業論文は上田秋成を書こうと思って、今資料を集めている。

キム：マンガとかアニメーションに興味がある。マンガ



ダグ・ヘワン（エチオピア）



アイダ（スロベニア）



ヤーニャ（スロベニア）



キム（韓国）



リ（中国）

リ：自分の専門である物流システムに興味がある。中国の物流はレベルが低いので、日本のシステムを勉強して応用できたらいいと思う。二つめは伝統文化。筑波美術館で華道の展覧会を見た。来週、華道を勉強するつもりです。京都、松島、富士山に行ったことがある。もっと日本文化を深く知りたいと思います。

レーティ：まず、着物を着てみたいです。一番おいしい料理は中国料理。一番親切な奥さんは、日本の奥さんです。古い日本の奥さんはまじめです。家にいます。毎日料理をします。仕事をしない。ベトナムの男の人はそんな奥さんが好きです。着物を着た奥さんはとてもきれいです。二つめは、相撲が見たい。先月浅草に行って相撲部屋を見ました。本当の相撲が見たいです。三つめは茶道です。作り方を知りたい。茶席に出てみたい。

ファテマ：日本の着物はイランでとても有名です。日本の着物ほしいです。

ケムーマニー：日本の料理に興味があります。特に飾り方とか、日本の料理はとてもきれいです。二つめは農民とか農業に興味がある。野菜とか好きです。

日本の奥さんは好きという発言がありましたが、日本の男性は？

レーティ：日本の男性は仕事が好きそうです。いつも働き、遊びたくない。家と家族は少し好き。仕事が一番好き。

日本の悪いところ、おかしいところは？

- ・自転車に乗りながら携帯で話すのはとても危ない。好きじゃない。
- ・ゴキブリが大きい。

- ・猫がたくさんいる。日本の猫はとても大きい。
- ・日本の漢字、とても難しいです。
- ・日本では近所の人同士、あまり話をしない。昔の日本人は近所と仲良くしていた。隣に住んでいる人でも誰かわからない。
- ・日本の温泉はとても熱いです。
- ・悪いところではないかもしれないが、日本人は働きすぎです。国民性かもしれないが、私はこの生活スタイルは好きではない。

留学先に日本を選んだ理由は？

ダグ・ヘワン：エチオピアのテレビで「おしん」を見ました。その映画に感動しました。アフリカではアジアのことをあまり知らないけど、そのとき日本に行きたいと考えました。

アイダ：スロベニアでは日本は知られていない。大学の日本語学部は新しい学部です。そこで学んでおもしろいと思った。

ヤーニャ：私は外国語に興味があります。中学のときに英語とドイツ語を学んだ。英語とドイツ語が話せるようになったのでほかの言語を勉強しようと思い、中国語と日本語に決めた。

キム：高校生のときから日本に留学したいと思い受験した。

リ：日本は伝統文化を持つ国だからです。

レーティ：日本の伝統文化を学びたい。日本は短期間に経済発展をした。たくさん有名なところもある。

ファテマ：教授に相談したときアジアでは日本が進んでいると薦められた。

ケムーマニー：昔から日本のマンガが好きだった。ドラえもんとか読んでいてノビ太の生活とかよく知っていたので、本当にそうかなと思って、知りたくてきました。

どうもありがとうございました。



レーティ（ベトナム）



ファテマ（イラン）



ケムーマニー（ラオス）

これからMIFAが目指すもの

「楽しく」「気兼ねなく」 「また来よう」

守谷市国際交流協会—MIFA—は今年で設立20年を迎えました。

今、「国際化」という言葉が大きくクローズアップされ、世界を見据えた教育や考え方について、大変多くの情報が私たちのまわりをとりまいています。経済や文化の面から日本の国際化とはなにか、日夜様々な議論を耳にします。

そんな中、MIFAは20年にわたり様々な活動によって国際交流を実現してきました。

1990年には初めてドイツのサッカーチームのホームステイを受け入れ、その後も様々な形でホームステイのホストとなっています。在日外国人のためのボランティアによる日本語講座も長く続いていて、たくさんの方が日本語を勉強中です。1993年から始まった大使や著名な方の講演会は、「世界を知るシリーズ」として、毎回多くの聴講希望者があります。またJICAの研修生を招いて日本文化を紹介するMIFAフェスタは毎年の恒例イベントとなっています。

その一方で、国際交流活動の主役である外国人の姿は多様です。

日本に居住する外国人数や国籍を例にしますと、昨年、中国がはじめて在日外国人の国籍のトップになりました。外務省統計によると、2007年の外国人登録者数は約215万人。その内訳は中国が28%、韓国朝鮮27%、ブラジル14%、フィリピン、ペルーと続いています。国籍数は190カ国にもものぼります。

守谷市ではどうでしょうか。在住外国人の数は約670人（2008年1月31日現在）。市民人口約5万8000人の守谷市民の100人に1人以上が外国籍という計算になります。



す！ その約25%が中国から来た方です。また同じく約25%がブラジルから。そして韓国、フィリピン、タイ、ペルー…

また、英語教育のために来日されている先生方、姉妹都市のドイツからやってきて市民のみなさんと様々な活動をされている国際交流員。多種多様の外国人の方がこの守谷で暮らしているのです。

自分の育った国を離れ、外国に住む（滞在する）、とはどういうことでしょうか。日々の生活や、働き場所や、子どもの通う学校や、いろいろなところで日本での生活方法を理解しなければなりません。異文化に触れ、充実した毎日を楽しんでいる方がたくさんいる中で、企業で働き、難しい日本語を覚えるのに苦労している外国人の方もいます。生活の中で顔見知りが増えていくことも、外国で暮らす上で大きな楽しみになります。

日本人も、留学や転勤で外国で暮らしたり、旅行で外国へ遊びに行ったことのある方が増えて、同じ思いをしたことのある方も多いことでしょう。

異文化との交流は、知らない世界、新しい発見がたくさんあります。交流を続けていくと、当然意見の不一致や日本の暮らし方について、伝えるべきこともあるかもしれません。

でも本当の国際交流は、表面だけでなく、そのような「お互いに向きあおうとするきもち」が、一番大事ではないかと思います。

多様な価値観を知り、国際社会の中での自分の考え方を育ててゆくためにも、外国人と「向きあう」事は大変重要です。それは日本人であること、日本の国について



さん、それらの方々が気軽に参加したい、参加できる内容を考えることは、大変意味のあることだと思います。

他県から越してきて地域の友人が欲しい、そして国際交流もしてみたい！ という楽しい、気軽なボランティアの集まりを期待している。という声も多く聞かれます。会員登録後の、新しい声に対するフォローアップも必要でしょう。情報の伝達手段もこの20年で多様化し、様々な方法を選択できるようになりました。

国際交流活動は一日で終わることではありません。

日本人も外国人もなく、MIFA自身が楽しく歩き、新しい人が気兼ねなく加わり、楽しいからまた来る、という連鎖が、特に、これからの広がりにはとても必要とされています。

そのためには、MIFAの運営も、人々が忙しい毎日の中でMIFAに参加するメリットはなにか、ということを常に意識することが大事だと思います。

「楽しく」「気兼ねなく」「また来る」このうちひとつでも欠けると、せっかく興味を持って集まった方々が、その後も続くことはないのです。

魅力あるボランティア団体でいるためには、ある部分においては経営感覚も必要です。新しい方が次々にMIFAの扉をたたく中で、MIFAも、理念を大事にしつつ、常に現実をみて変化すべきところはしていかなければなりません。

様々な広がりを通じて、これから身近な外国人が増え、日本人とともに双方向での国際交流を実現していければとても素晴らしいと思います。



客観的に意識する、貴重なチャンスともいえます。同時に、それはとてもエキサイティングなことでもあります！

MIFAにとっても、今までの実績をベースに、これからどのように活動を深めてゆき、外国人と「向きあうか」ということが大きな課題です。

それにはまず、外国人の方も含め、みんなが気軽に、楽しく、また来たいと思う活動を続けてゆくことが大事だと思います。

楽しく参加できなければ足が遠のいてしまいますし、続きません。生活者の外国人にとっては自分の生活向上に直結する活動内容も必要でしょう。

20年目を迎えた今、MIFAの会員中、外国人の方の登録は数えるほどです。でも、前述のように守谷市および周辺地域に外国籍の方はたくさんいます。外国人にとって必要とされる国際交流活動とはなにか、は大きなテーマです。

国際交流ってなんだろう？ と思いながらMIFAを知り外国人が少ないのを不思議に思っている、という新しい日本人会員の意見もありました。

一方、MIFAの日本人会員数も、市民人口の増加傾向と一致しているわけではありません。人口が増え、様々な市民の生活形態や年代にマッチしたプランニングも重要です。

平日に時間がとりにくい方、平日しか参加できない方、行動範囲を大きく広げ始めた20代、様々な分野で活躍する30・40代の社会人中堅世代、子育てに忙しいお母

歴代理事(1989～1993)

役 職	1989(元)	1990(2)	1991(3)	1992(4)	1993(5)
会 長	大久保隆司	大久保隆司	大久保隆司	大久保隆司	小川 一成
副 会 長	浅川 和広	浅川 和広	浅川 和広	浅川 和広	浅川 和広
	小川 一成	小川 一成	小川 一成	小川 一成	山田 清美
理 事	渡辺 丞	渡辺 丞	塚原三千勝	塚原三千勝	塚原三千勝
	塚原三千勝	塚原三千勝	青木 行雄	青木 行雄	青木 行雄
	田中 汀子	田中 汀子	千葉美恵子	千葉美恵子	千葉美恵子
	高橋真佐子	高橋真佐子	大久保団治	大久保団治	片桐 武美
	西井 幸子	西井 幸子	佐藤 健	佐藤 健	武部 信宏
	野原 敏弘	野原 敏弘	片桐 武美	片桐 武美	吉田 英信
	青木 行雄	青木 行雄	武部 信宏	武部 信宏	松丸 修久
	千葉美恵子	千葉美恵子	山田 清美	山田 清美	遠藤 栄治
	文道 敏雄	松丸 修久	西井 幸子	西井 幸子	岡田 美枝
	瀬尾 勝雄	瀬尾 勝雄	松丸 修久	松丸 修久	広山幸太郎
	大久保団治	大久保団治	吉田 英信	吉田 英信	桐生 朗子
	浅野 修	佐藤 健	水上 早苗	佐々木 薫	
	小林 常三	片桐 武美			
	片桐 武美	染谷 洋			
	染谷 洋	吉田 利夫			
	吉田 利夫	中島 勝之			
	中島 勝之	池田 政雄			
	池田 政雄				
監 事	大久保信市	大久保信市	大久保信市	大久保信市	松丸 照雄
	松丸 照雄	松丸 照雄	松丸 照雄	松丸 照雄	斉藤貴美子
事 務 局 長	高坂 明夫	高坂 明夫	大徳 正夫	大徳 正夫	大徳 正夫
事 務 局	塚原三千勝	塚原三千勝	豊谷 如秀	豊谷 如秀	豊谷 如秀
	千葉美恵子	千葉美恵子	小川 朱美	小川 朱美	小川 朱美
			高本ちあき	高本ちあき	高本ちあき
会 計	西井 幸子	西井 幸子	長谷川登代	長谷川登代	長谷川登代
	豊谷 如秀	豊谷 如秀	森山千恵子	森山千恵子	森山千恵子
名 誉 会 長	大和田 仁	大和田 仁	大和田 仁	大和田 仁	会田 真一
顧 問					大久保隆司

歴代理事(1994～1998)

役 職	1994(6)	1995(7)	1996(8)	1997(9)	1998(10)
会 長	小川 一成	小川 一成	小川 一成	小川 一成	小川 一成
副 会 長	浅川 和広	浅川 和広	浅川 和広	浅川 和広	浅川 和広
	山田 清美	山田 清美	山田 清美	山田 清美	山田 清美
理 事	塚原三千勝	塚原三千勝	塚原三千勝	塚原三千勝	塚原三千勝
	青木 行雄	青木 行雄	青木 行雄	武部 信宏	武部 信宏
	千葉美恵子	武部 信宏	武部 信宏	吉田 英信	吉田 英信
	片桐 武美	吉田 英信	吉田 英信	松丸 修久	松丸 修久
	武部 信宏	松丸 修久	松丸 修久	岡田 美枝	岡田 美枝
	吉田 英信	岡田 美枝	岡田 美枝	吉田 勝	吉田 勝
	松丸 修久	広山幸太郎	広山幸太郎	長谷川登代	長谷川登代
	遠藤 栄治	吉田 勝	吉田 勝	相川 京子	相川 京子
	岡田 美枝	長谷川登代	長谷川登代	黒崎 映子	黒崎 映子
	広山幸太郎	相川 京子	相川 京子	高本 好庸	高本 好庸
	桐生 朗子	黒崎 映子	黒崎 映子	小野 泉	小野 泉
		高本 好庸	高本 好庸	根本ひとみ	根本ひとみ
		桐生 朗子	桐生 朗子	岩間 頼子	岩間 頼子
監 事	松丸 照雄	松丸 照雄	松丸 照雄	松丸 照雄	松丸 照雄
	齊藤貴美子	橘 由紀子	橘 由紀子	毛利 史子	毛利 史子
事 務 局 長	中川 清彦	中川 清彦	原田 健一	原田 健一	清宮 正人
事 務 局	古谷 善男	寺田 功一	寺田 功一	笠見 吉代	笠見 吉代
	高本ちあき	古谷 善男	古谷 善男	古谷 善男	染谷 洋一
		滝田美津子	染谷 洋一	染谷 洋一	滝田美津子
			滝田美津子	滝田美津子	
会 計	長谷川登代	中村 敏子	中村 敏子	中村 敏子	中村 敏子
	森山千恵子	吉田真佐子	吉田真佐子	吉田真佐子	吉田真佐子
名 誉 会 長	会田 真一	会田 真一	会田 真一	会田 真一	会田 真一
顧 問	大久保隆司	大久保隆司	大久保隆司	大久保隆司	大久保隆司

歴代理事(1999～2003)

役 職	1999(11)	2000(12)	2001(13)	2002(14)	2003(15)
会 長	小川 一成	小川 一成	小川 一成	小川 一成	小川 一成
副 会 長	浅川 和広	浅川 和広	浅川 和広	浅川 和広	浅川 和広
	山田 清美	山田 清美	山田 清美	山田 清美	山田 清美
理 事	塚原三千勝	相川 京子	市川 頼子	市川 頼子	石井みどり
	武部 信弘	岩間 頼子	岡田 美枝	岡田 美枝	市川 頼子
	松丸 修久	岡田 美枝	黒崎 映子	黒崎 映子	伊東 明彦
	岡田 美枝	小野 泉	塚原三千勝	塚原三千勝	遠藤 栄治
	吉田 勝	黒崎 映子	中村 敏子	中村 敏子	岡田 美枝
	長谷川登代	高本 好庸	根本ひとみ	根本ひとみ	尾崎 和恵
	相川 京子	塚原三千勝	長谷川登代	長谷川登代	落合 理史
	黒崎 映子	中村 敏子	松丸 修久	松丸 修久	小野 泉
	高本 好庸	根本ひとみ	吉田 勝	吉田 勝	笠原 岳夫
	小野 泉	長谷川登代			久保 昌也
	根本ひとみ	松丸 修久			黒崎 映子
	岩間 頼子	水村 富子			竹下 明子
	中村 敏子	吉田 勝			塚原三千勝
	水村 富子	笠原 岳夫			中村 敏子
		石井みどり			根本ひとみ
		長谷川友梨			長谷川登代
					松丸 修久
					山之内道子
					吉田 勝
委員長理事			久保 昌也	久保 昌也	吉田 篤子
			石井みどり	尾崎 和恵	島田 紅生
			木村 重治	竹下 明子	
			小野 泉	小野 泉	
			山之内道子	山之内道子	
			長谷川友梨	松岡 修平	
監 事	松丸 照雄	松丸 照雄	尾崎 和江	吉田 篤子	田中 明
	毛利 史子	毛利 史子	吉田 篤子	石井みどり	武部トシ子
事 務 局 長	清宮 正人	大塚 誠	弘澤 廣	弘澤 廣	菊地 充
事 務 局	笠見 吉代	笠見 高志	笠見 高志	笠見 高志	坂 登司男
	笠見 高志	滝田美津子	笠原 岳夫	笠原 岳夫	笠原 岳夫
	滝田美津子				
会 計	吉田真佐子	片倉 弘恵	片倉 弘恵	一条 久美	片倉 弘恵
	鈴木 行子	鈴木 行子	鈴木 行子	鈴木 行子	鈴木 行子
名 誉 会 長	会田 真一	会田 真一	会田 真一	会田 真一	会田 真一
顧 問	大久保隆司	大久保隆司	大久保隆司	大久保隆司	大久保隆司

※理事は1999年度までは任命順でしたが、2000年度からは50音順としました。

※2001・2002年度の理事は委員長兼務の場合、委員長理事に掲載しています。

歴代理事(2004～2008)

役 職	2004(16)	2005(17)	2006(18)	2007(19)	2008(20)
会 長	小川 一成	小川 一成	小川 一成	小川 一成	小川 一成
副 会 長	浅川 和広	山田 清美	山田 清美	山田 清美	山田 清美
	山田 清美	久保 昌也	久保 昌也	吉田 篤子	吉田 篤子
		吉田 篤子	吉田 篤子	櫻井 由美	櫻井 由美
理 事	石井みどり	浅川 恭子	浅川 恭子	浅川 恭子	浅川 恭子
	市川 頼子	石井みどり	石井みどり	石井みどり	石井みどり
	伊東 明彦	伊東 明彦	伊東 明彦	伊東 明彦	伊東 明彦
	遠藤 栄治	岡田 美枝	尾崎 和恵	尾崎 和恵	尾崎 和恵
	岡田 美枝	尾崎 和恵	落合 理史	落合 理史	落合 理史
	尾崎 和恵	落合 理史	小野 泉	小野 泉	小野 泉
	落合 理史	小野 泉	笠原 岳夫	鎌田 彰	鎌田 彰
	小野 泉	笠原 岳夫	鎌田 彰	黒崎 映子	黒崎 映子
	笠原 岳夫	鎌田 彰	黒崎 映子	塚原三千勝	塚原三千勝
	久保 昌也	黒崎 映子	塚原三千勝	剣 安雄	剣 安雄
	黒崎 映子	塚原三千勝	中村 敏子	中村 敏子	中村 敏子
	竹下 明子	中村 敏子	長谷川登代	長谷川登代	長谷川登代
	塚原三千勝	根本ひとみ	松丸 修久	林 由男	林 由男
	中村 敏子	長谷川登代	山之内道子	柳沢 知伸	柳沢 知伸
	根本ひとみ	松丸 修久	吉田 勝	山之内道子	山之内道子
	長谷川登代	山之内道子		吉田 勝	吉田 勝
	松丸 修久	吉田 勝		渡邊 雄一	渡邊 雄一
	山之内道子				
	吉田 勝				
委員長理事	吉田 篤子	猪瀬日出子	猪瀬日出子	泉山 聡史	泉山 聡史
	猪飼万由子	櫻井 由美	櫻井 由美	飯田 孝道	飯田 孝道
		於曽野亜美	櫻井 友香		
		倉田 就介	飯田 孝道		
監 事	田中 明	橘 由紀子	橘 由紀子	猪瀬日出子	猪瀬日出子
	武部トシ子	渡邊 雄一	渡邊 雄一	松丸 修久	松丸 修久
事 務 局 長	菊地 充	寺田 功一	寺田 功一	寺田 功一	松丸美恵子
事 務 局	坂 登司男	坂 登司男	坂 登司男	坂 登司男	坂 登司男
	笠原 岳夫	浅川 恭子	浅川 恭子	剣 安雄	剣 安雄
会 計	下村 弘恵	高橋 淳	高橋 淳	高橋 淳	小林 龍一
	鈴木 行子	鈴木 行子	鈴木 行子	山之内道子	山之内道子
名 誉 会 長	会田 真一	会田 真一	会田 真一	会田 真一	会田 真一
顧 問	大久保隆司	大久保隆司	大久保隆司	大久保隆司	大久保隆司

歴代正副委員長(1989～1993)

		1989(元)	1990(2)	1991(3)	1992(4)	1993(5)
都市交流	委員長	佐藤 健	佐藤 健	武部 信宏	武部 信宏	遠藤 栄治
	副委員長	小島 正隆	小島 正隆	吉田 勝	吉田 勝	吉田 勝
		神山 清子	神山 清子	神山 清子	神山 清子	越中 佳永
語学研修	委員長	山田 清美	山田 清美	山田 清美	山田 清美	山田 清美
	副委員長	相川 京子	相川 京子	相川 京子	相川 京子	相川 京子
				長谷川登代	長谷川登代	長谷川登代
広報	委員長	内田 史枝	西井 幸子	西井 幸子	西井 幸子	岡田 美枝
	副委員長	松下 道子	平久 幸子	岡田 美枝	岡田 美枝	西井 幸子
			岡田 美枝	平久 幸子	平久 幸子	片桐 武美
ホームステイ	委員長	松丸 修久	松丸 修久	松丸 修久	松丸 修久	青木 行雄
	副委員長	田中 勲	田中 勲	田中 勲	田中 勲	中村 敏子
		武部トシ子	武部トシ子	武部トシ子	武部トシ子	
ログハウス	委員長		吉田 英信	吉田 英信	吉田 英信	広山幸太郎
	副委員長		吉田 篤子	吉田 篤子	吉田 篤子	小川 秀樹
			能登川由美子	能登川由美子	能登川由美子	
学生	委員長		水上 早苗	水上 早苗	佐々木 薫	桐生 朗子
	副委員長		伊東 明彦	伊東 明彦	宅 美貴子	宅 美貴子
			佐々木 妙	佐々木 妙	佐藤 幸恵	相川 素子

歴代正副委員長(1994～1998)

		1994(6)	1995(7)	1996(8)	1997(9)	1998(10)
都市交流	委員長	遠藤 栄治	吉田 勝	吉田 勝	根本ひとみ	根本ひとみ
	副委員長	吉田 勝	岩間 頼子	岩間 頼子	飯田 勝巳	田中 明
		岩間 頼子	直井 洋明	飯田 勝巳	小嶋 吉邦	小嶋 吉邦
語学研修	委員長	山田 清美	長谷川登代	長谷川登代	小代 宗謙	小代 宗謙
	副委員長	相川 京子	相川 京子	相川 京子	滝田美津子	黒崎 映子
		長谷川登代	滝田美津子	滝田美津子	水村 富子	水村 富子
広報	委員長	岡田 美枝	吉田 英信	小野 泉	小野 泉	小野 泉
	副委員長	片桐 武美	岡田 美枝	遠藤 栄治	遠藤 栄治	遠藤 栄治
			黒崎 映子	黒崎 映子	黒崎 映子	黒崎 映子
ホームステイ	委員長	青木 行雄	青木 行雄	中村 敏子	中村 敏子	
	副委員長	中村 敏子	中村 敏子	渡辺 智子	尾崎 和恵	
ログハウス	委員長	広山幸太郎	高本 好庸	高本 好庸	高本 好庸	高本 好庸
	副委員長	高柳 武彦	和田 司	毛利 史子	高梨 隆	高梨 隆
		橘 由紀子	毛利 史子	高梨 隆	今泉 妙子	山之内道子
				今泉 妙子	加藤 朋久	加藤 朋久
学生	委員長	木村 貴紀	金成 隆一	市川 聡子	毛利 綾子	市川 孝幸
	副委員長	田中 和氏	相川 素子	後藤 真実	市川 孝幸	神山 綾沙
		久慈 隆伸	柳沢 知伸	中村 知仁	坪内友紀子	城賀本真理
			神田さおり	松本 岳		皆見ひとみ
						宇佐美景子

歴代正副委員長(1999～2003)

		1999(11)	2000(12)	2001(13)	2002(14)	2003(15)
総 務	委 員 長	笠原 岳夫	笠原 岳夫	久保 昌也	久保 昌也	久保 昌也
	副委員長	吉田 勝	吉田 勝	笠原 岳夫	笠原 岳夫	笠原 岳夫
		岡田 美枝	岡田 美枝	吉田 勝	吉田 勝	吉田 勝
				岡田 美枝	岡田 美枝	岡田 美枝
都 市 交 流	委 員 長	根本ひとみ	石井みどり	石井みどり	尾崎 和恵	尾崎 和恵
	副委員長	田中 明	山口 エミ	山口 エミ	落合 理史	落合 理史
		石井みどり	尾崎 和恵	尾崎 和恵	池田まゆみ	池田まゆみ
						鎌田 彰
語 学 研 修	委 員 長	水村 富子	水村 富子	木村 重治	竹下 明子	竹下 明子
	副委員長	佐々木悦子	木村 重治	木村 千鶴	木村 重治	木村 重治
		宇野 洋子	木村 千鶴	竹下 明子	木村 千鶴	木村 千鶴
				渡辺 元通	加納美由紀	加納美由紀
広 報	委 員 長	小野 泉	小野 泉	小野 泉	小野 泉	小野 泉
	副委員長	遠藤 栄治	遠藤 栄治	遠藤 栄治	遠藤 栄治	遠藤 栄治
		黒崎 映子	黒崎 映子	黒崎 映子	黒崎 映子	黒崎 映子
			根本ひとみ	根本ひとみ	根本ひとみ	
ログハウス	委 員 長	高本 好庸	高本 好庸	山之内道子	山之内道子	吉田 篤子
	副委員長	山之内道子	鈴木 行子	高本 好庸	高本 好庸	櫻井 由美
		鈴木 行子	宮本 肇	鈴木 行子	浅川 恭子	橘 由紀子
		宮本 肇	浅川 恭子	宮本 肇	宮本 肇	高本 好庸
					櫻井 由美	宮本 肇
学 生 ※2003～ 「青年交流」に 名称変更	委 員 長	和田 光司	長谷川友梨	長谷川友梨	松岡 修平	島田 紅生
	副委員長	佐々木隆晶	小野寺 泉	坪内友紀子	長谷川友梨	栗山 雄介
		市川 孝幸	栗山 雄介	宮原 洋輔	浅川 由佳	長谷川友梨
			浅川 由佳	尾関 恵一	鈴木 良介	
日本語講座	委 員 長					根本ひとみ
	副委員長					樗木 孝之
						塚原 恭子
						深田 真
						宮原美紀子
						藪下 陽子
						山田 善雄

歴代正副委員長(2004～2008)

		2004(16)	2005(17)	2006(18)	2007(19)	2008(20)
総務	委員長	久保 昌也	久保 昌也	久保 昌也	吉田 勝	吉田 勝
	副委員長	笠原 岳夫	浅川 恭子	浅川 恭子	浅川 恭子	浅川 恭子
		吉田 勝	岡田 美枝	吉田 勝	剣 安雄	剣 安雄
		岡田 美枝	吉田 勝	笠原 岳夫		天野 紳一
			笠原 岳夫	剣 安雄		
都市交流	委員長	尾崎 和恵	猪瀬日出子	猪瀬日出子	石井みどり	石井みどり
	副委員長	落合 理史	吉田 勝	吉田 勝	遠藤 桂	遠藤 桂
		猪瀬日出子	鎌田 彰	鎌田 彰	鎌田 彰	鎌田 彰
		鎌田 彰	板倉 信義		松丸 猛	松丸 猛
語学研修	委員長	竹下 明子	長谷川登代	長谷川登代	長谷川登代	黒瀬 良子
	副委員長	剣 安雄	相川 京子			
		木村 千鶴				
広報	委員長	小野 泉	小野 泉	小野 泉	小野 泉	小野 泉
	副委員長	遠藤 栄治	遠藤 栄治	遠藤 栄治		
		黒崎 映子	黒崎 映子	黒崎 映子		
ログハウス	委員長	吉田 篤子	櫻井 由美	櫻井 由美	浅川 恭子	浅川 恭子
	副委員長	櫻井 由美	浅川 恭子	浅川 恭子	伊東 明彦	伊東 明彦
		橘 由紀子	伊東 明彦	伊東 明彦	染谷由香理	染谷由香理
		伊東 明彦	染谷由香理	染谷由香理		
		宮本 肇				
青年交流	委員長	猪飼万由子	於曽能亜美	櫻井 友香	泉山 聡史	泉山 聡史
	副委員長	岸 真理亜	岸 真理亜	於曽能亜美	穂苅 彩菜	大曽根 舞
			島田舞水雄	長谷川友梨	松永 万澄	櫻井 友香
					村田 進	
日本語講座	委員長	根本ひとみ	倉田 就介	飯田 孝道	飯田 孝道	飯田 孝道
	副委員長	樗木 孝之	飯田 孝道	澤登真佐子	尾崎 和恵	尾崎 和恵
		塚原 恭子	澤登真佐子	中村 敏子	宮原美紀子	宮原美紀子
		深田 真	根本ひとみ		和地 恵子	和地 恵子
		藪下 陽子	武藤由紀子			
		山田 善雄				

守谷市国際交流協会規約

(名 称)

第1条 本会は、守谷市国際交流協会（以下「協会」という）と称する。

(目 的)

第2条 協会は、市民を主体とした幅広い分野における国際交流を推進し、市民の文化の向上に資するとともに、国際親善に寄与することを目的とする。

(事 業)

第3条 協会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 国際交流に関する諸事業の企画・立案及び実施
- (2) 国際交流に関する趣旨の普及
- (3) 国際交流に関する情報、資料の収集及び普及
- (4) その他国際交流の推進のために必要な事業

(会 員)

第4条 協会は、第2条の目的に賛同する個人会員及び賛助会員をもって組織する。

2 会員となる者は、入会申込書を会長に提出しなければならない。

(役 員)

第5条 協会に次の役員をおく。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 3人以内
- (3) 理事 30人以内
- (4) 事務局長 1人
- (5) 会計 2人以内
- (6) 監事 2人

2 会長及び副会長は、理事の互選とする。

3 理事及び監事は、会員の中から理事会の推薦を経て総会で承認し、事務局長及び会計は事務局の中から会長が委嘱する。

4 役員（監事を除く）及び各専門委員会の委員長は、理事会を構成する。

5 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

6 役員が欠けた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員の職務)

第6条 会長は、協会を代表し、会務を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

3 理事は、理事会を構成し、会務を処理する。

4 事務局長は、事務局を総括する。

5 会計は、協会の経理を処理する。

6 監事は、協会の経理を監査する。

(名誉会長及び顧問)

第7条 協会に名誉会長及び顧問を置くことができる。

2 名誉会長及び顧問は、会議に出席して意見を述べることができる。

3 名誉会長及び顧問は、理事会の承認を得て、会長が委嘱する。

(事務局)

第8条 事務局は、会員の中から、会長が委嘱する。

(会 議)

第9条 会議は、総会及び理事会とし、会長がこれを招集し、総会の議長はその都度、会員の中から推薦により選任することとし、理事会の議長は、会長が務める。

(総 会)

第10条 総会は、年1回会長が招集する。ただし、必要に応じて臨時総会を開くことができる。

2 総会は、次の事項を審議する。

- (1) 規約の改廃
- (2) 年間事業計画
- (3) 予算及び決算
- (4) 理事（専門委員長・事務局長・会計を除く）及び監事の選任
- (5) その他必要な事項

3 総会の議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(理事会)

第11条 理事会は、会長が随時招集する。

2 理事会で取扱う事項は、次のとおりとする。

- (1) 総会に提出する議案の審議
- (2) その他必要な事項

(運営委員会)

第12条 理事会は、協会の事業活動を円滑に推進するため、理事会のもとに運営委員会を設けることができる。

2 運営委員会は、会長、副会長及び専門委員会の正副委員長をもって構成する。

3 運営委員会で決定する事項は、次のとおりとする。

- (1) 予算及び事業計画にもとづく協会の具体的な事業の執行に関すること。
- (2) 各専門委員会の活動の調整に関すること。
- (3) その他、理事会に付議する必要のない事項。

(専門委員会)

第13条 理事会は、協会の事業を推進するために、専門委員会を設けることができる。

2 専門委員会に正副委員長をおき、任期は原則として2年とし、ただし、再任を妨げない。

3 専門委員会は、協会の事業の具体化のため、各々の所管にもとづき、企画・立案及び実施にあたる。

(財 務)

第14条 協会の経費は、会費、補助金及び寄付金等をもって充てる。

2 協会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(会 費)

第15条 協会の会費は、次のとおりとする。

- | | | |
|------------|----|---------|
| (1) 個人会員 | 年額 | 1,000円 |
| (ただし学生・生徒) | 年額 | 500円 |
| (2) 賛助会員 | 年額 | 10,000円 |

(雑 則)

第16条 本規約に定めるもののほか、本協会の運営に関し必要な事項は、理事会にはかつて、会長が定める。

附則

この規約は、平成元年7月22日から施行する。

附則

この規約は、平成10年5月24日から施行する。

附則

この規約は、公布の日から施行し、平成14年2月2日から適用する。

附則

この規約は、平成17年5月22日から施行する。

附則

この規約は、平成21年5月31日から施行する。

守谷町国際交流協会設立趣意書

国際化時代を迎えた今日、町民が歴史・文化・生活習慣の異なる外国人と交流することにより、広く世界に目を向け、国際的な感覚で物事を考える豊かな心を育み、世界に開かれた地域づくりの一翼を担うことが不可欠であります。

守谷町国際交流協会（MIFA）は、こうした新しい時代に対応し町民が主体となって国際交流を展開し、「世界に拓かれた守谷」「平和を愛する守谷」の実現を目指してまいります。

姉妹都市宣言（マインブルク市）

日本国茨城県守谷町とドイツ連邦共和国マインブルク市の両市町民及び両市町は、相互に友好と親善の絆を深めることを念願し、教育、文化、スポーツ、経済及びその他の分野での交流を促進することを希求する。

この交流は、両市町民のみならず両国間の理解を深め、さらには世界平和に寄与することを目的として、ここに両市町が姉妹都市として提携することを宣言する。

1990年11月3日

マインブルク市長

セバスティアン・キルツインガー

守谷町長 大和田 仁

姉妹都市宣言（グリーリー市）

日本国茨城県守谷町とアメリカ合衆国コロラド州グリーリー市の両市町民及び両市町は、相互に友好と親善のきずなを深めることを念願し、教育、文化、スポーツ、経済及びその他の分野での交流を促進することを希求する。

この交流は、両市町民のみならず両国間の理解を深め、さらには世界平和に寄与することを目的として、ここに両市町が姉妹都市として提携することを宣言する。

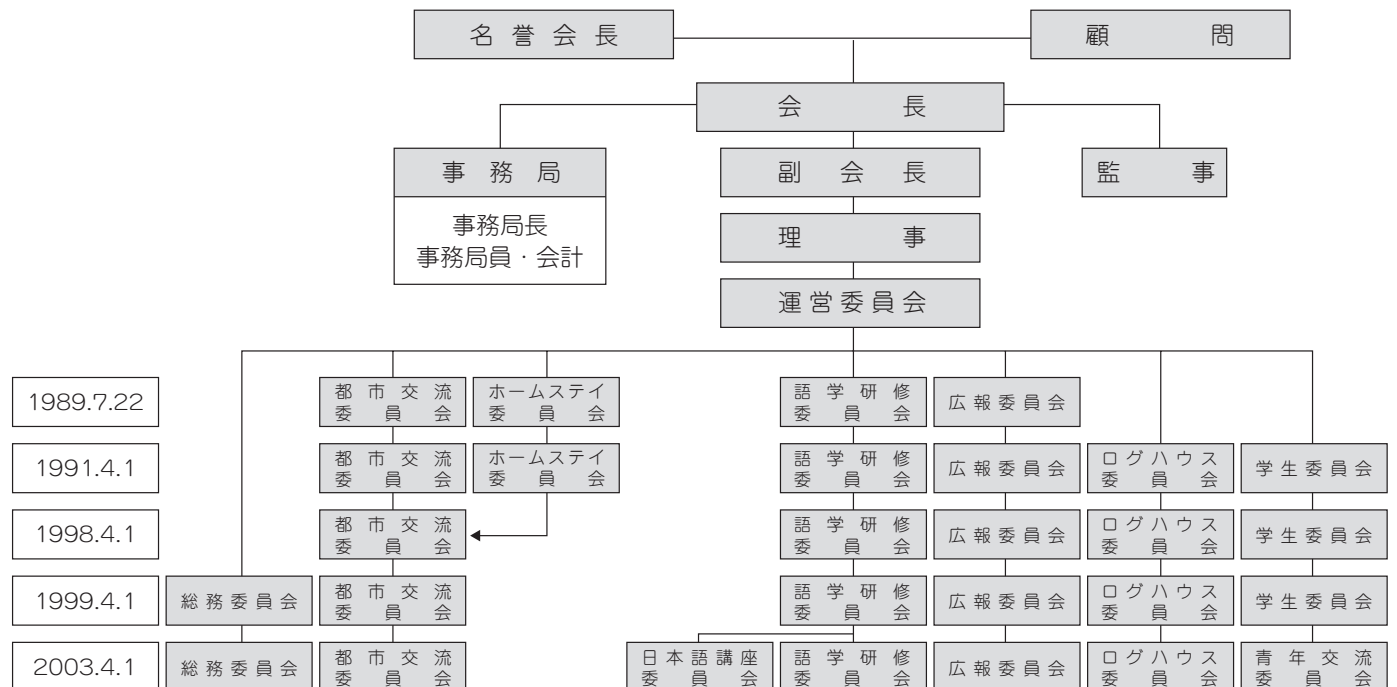
1993年8月3日

グリーリー市長

ウィリアム・J・モートン

守谷町長 会田 真一

機構図



専門委員会

(1) 総務委員会

各委員会との連絡調整、他団体との交流、協会運営に関すること。

(2) 都市交流委員会

守谷市及び近隣在住外国人との交流を深める。JICA研修員や筑波大学留学生にホームステイの機会を提供し、日本の文化・生活を体験してもらい、国際理解を促進する。ドイツ連邦共和国マインブルク市及びアメリカ合衆国グリーリー市との市民交流を促進する。

(3) 語学研修委員会

他言語に関する取り組みを通じ、日本と異文化の理解を深め、在住外国人とも交流を図る。

(4) 広報委員会

ニュースレター等の発行・ホームページを通じて、情報を提供する。

(5) ログハウス委員会

守谷市国際交流協会の活動拠点である国際交流研修センター（ログハウス）を活用し、市民・近隣及び外国人を対象とした活動を行う。

(6) 青年交流委員会

国際交流活動に関するボランティア活動、レクリエーション活動等を企画・実施する。

(7) 日本語講座委員会

在住外国人に、生活上必要な言葉を習得する場を提供するとともに、異文化交流の場としての機能を果たす。

編集後記にかえて

(広報発行の記録)

1989. 9.18 第1回広報委員会 正副委員長の互選
 1990. 4.27 MIFAニューズレターNo 1 発行
 1990.10.16 MIFAニューズレターNo 2 発行
 1991. 2.19 MIFAニューズレターNo 3 発行
 1991. 7.30 MIFAニューズレターNo 4 発行 (全戸配布)
 (新聞折り込み、以下同)
 1991.11. 7 MIFAニューズレターNo 5 発行
 1992. 3.30 MIFAニューズレターNo 6 発行
 1992. 8. 4 MIFAニューズレターNo 7 発行 (全戸配布)
 1992.12.25 MIFAニューズレターNo 8 発行
 1993. 3.31 MIFAニューズレターNo 9 発行
 1993. 7. 4 MIFAニューズレターNo 10 発行 (全戸配布)
 1993.10.22 MIFAニューズレターNo 11 発行
 1994. 1.20 MIFAニューズレターNo 12 発行
 1994. 4 MIFAニューズレターNo 13 発行
 1994. 8 MIFAニューズレターNo 14 発行 (全戸配布)
 1995 MIFAニューズレターNo 15 発行
 1995. 2 MIFAニューズレターNo 16 発行
 1995. 8 MIFAニューズレターNo 17 発行
 1996. 3 MIFAニューズレターNo 18 発行 (全戸配布)
 1996.11.15 MIFAニューズレターNo 19 発行
 1997. 3.20 MIFAニューズレターNo 20 発行 (全戸配布)
 1997. 7. 4 MIFAニューズレターNo 21 発行 (全戸配布)
 1998. 3.31 MIFAニューズレターNo 22 発行
 1998.10. 4 MIFAニューズレターNo 23 発行
 (10周年記念特集、記念式典で配布)
 1999. 2. 1 守谷町国際交流協会ホームページ開設
 1999. 3.31 MIFAニューズレターNo 24 発行 (全戸配布)
 1999. 9.26 MIFAニューズレターNo 25 発行
 2000. 3.31 MIFAニューズレターNo 26 発行 (全戸配布)
 2000.10.31 MIFAニューズレターNo 27 発行
 2001. 3.31 MIFAニューズレターNo 28 発行 (全戸配布)
 2001. 7. 7 MIFAニューズレターNo 29 発行
 2001.10.18 MIFAニューズレターNo 30 発行
 2002. 1.18 MIFAニューズレターNo 31 発行



1991年頃の広報委員

編集後記

水を飲むとき、井戸を掘った人のことを忘れないで
 いたいものです。

MIFAに関わったすべての人に感謝を込めて…

20周年記念誌部会編集委員



設立初期の編集作業。まだログハウスは出来ておらず、旧町役場のプレハブ会議室で編集作業をしています。

人材不足はこの頃からのものらしく、1991年2月19日発行のMIFAニューズレターNo3の専門委員会の活動状況には「HELP!」のタイトルで「各委員会の活動が活発になればなる程、イベントや企画が多くなればなる程、扱う記事の量は多くなってきます。(中略) 会員は年毎に増えているのに、(広報) 委員会に属する人は少なく、その少ない人の肩に、あれもこれもものし掛かってきています」と書かれています。

とは言ってもなんとかなるもので、設立20周年記念号のNo50まで広報の発行は切れ目なく続いています。

2002. 6.14 MIFAニューズレターNo32発行
 2002. 9.20 MIFAニューズレターNo33発行
 2003. 1. 1 MIFAニューズレターNo34発行
 2003. 3.31 MIFAニューズレターNo35発行
 2003. 6.10 MIFAニューズレターNo36発行 (全戸配布)
 (広報もりや折り込み、以下同)
 2003. 9.30 MIFAニューズレターNo37発行
 2004. 3.31 MIFAニューズレターNo38発行
 2004. 6.25 MIFAニューズレターNo39発行 (全戸配布)
 2004.10.25 MIFAニューズレターNo40発行
 2005. 3.31 MIFAニューズレターNo41発行
 2005. 8.27 MIFAニューズレターNo42発行
 2005.12.25 MIFAニューズレターNo43発行 (全戸配布)
 2006. 3.31 MIFAニューズレターNo44発行
 2006. 9.30 MIFAニューズレターNo45発行
 2007. 3.31 MIFAニューズレターNo46発行 (全戸配布)
 2007. 9.30 MIFAニューズレターNo47発行
 2008. 3.31 MIFAニューズレターNo48発行 (全戸配布)
 2008. 9.28 MIFAニューズレターNo49発行
 2008. 9.28 MIFAニューズレターNo50発行
 (20周年記念特集、記念式典で配布)



1998.11.2 ホームページ作成委員会

守谷市国際交流協会20周年記念誌

2009年3月31日発行

発行：守谷市国際交流協会

編集：20周年記念事業記念誌部会

監修：守谷市役所くらしの支援課

